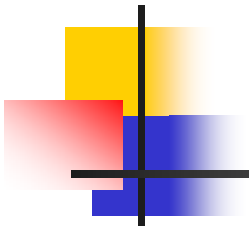




JAバンク青森の地域密着型金融 の取組状況について(平成21年度)

平成22年11月
農林中央金庫青森支店



JAバンク青森(県内10JA,青森県信用農業協同組合連合会,農林中央金庫青森支店)では,農業と地域社会に貢献するため,平成19~21年度JAバンク中期戦略に基づき,地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成21年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので,ご報告いたします。



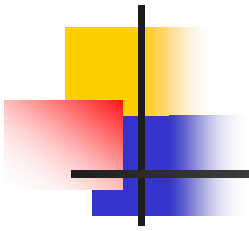
目次

農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み） … P. 4

担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 11

経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供 … P. 15

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … P. 18



**農山漁村等地域の活性化のための
融資を始めとする支援（JAバンクの農
業メインバンク機能強化への取組み）**



農業融資の円滑な取組み

- JAバンク青森は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成22年3月末時点のJAバンク青森の農業関係資金残高^(注1)は47,875百万円となっています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成22年3月末
プロパー農業資金	37,019
農業制度資金	10,856
農業近代化資金	712
その他制度資金	10,144
合 計	47,875

(注)

1. プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。
3. その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成22年3月末
日本政策金融公庫資金	7,622

(注)

JAバンク青森では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業資金残高】

単位 百万円

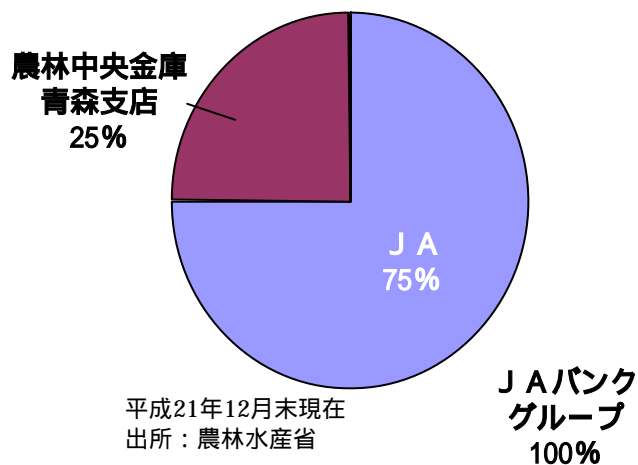
営農類型	平成22年3月末
農業	40,371
穀作	7,217
野菜・園芸	5,394
果樹・樹園野菜	8,296
工芸作物	858
養豚・肉牛・酪農	2,853
養鶏・鶏卵	154
その他農業	15,599
農業関連団体等	7,504
合計	47,875

(注)

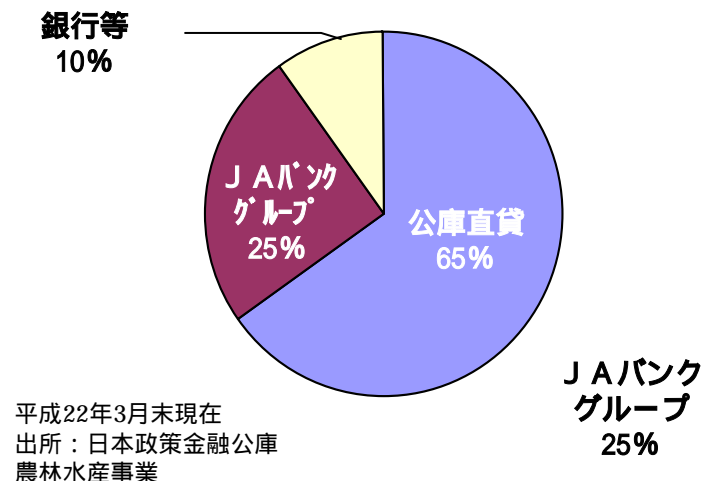
1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
2. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
3. 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

J Aバンク青森は主要な農業関係の制度資金である，
農業近代化資金や日本政策金融公庫農業資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金 融資残高のシェア



日本政策金融公庫 農業資金取扱残高のシェア





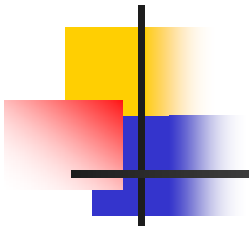
担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク青森では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- 県内JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JA（平成22年3月末当時15JA）と農林中央金庫青森支店に計65人の「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資担当者の活動をサポートしています。
- 農林中央金庫青森支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」の構築、これらの機能の拡充、強化を実施しています。



JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への合同訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。



担い手の経営のライフサイクルに 応じた支援



新規就農者の支援

- JAバンク青森では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【平成21年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

単位 件, 百万円

	実行件数	実行金額	平成22年3月末残高
就農支援資金	9	17	150

- 平成22年度から、JAバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農応援事業を創設し、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成することとしています。

経営不振農業者の経営改善支援

- JAバンク青森では、農家負担軽減支援特別資金の対応にあたり、地域において特別融資制度推進会議を開催し、農業者の経営再建に向けて関係機関と協議しています。

【平成21年度の農業者の経営改善支援取組実績】

	経営改善 支援取組先	のうち再生 計画策定先	のうちラン クアップ先	のうち債務 者区分不変 先	事業計画 策定率 /	ランクアップ 率 /
正常先	143	0	58	59	41.3%	0.0%
要注意先	1,229	439	677	255	43.5%	72.0%
破綻懸念先	100	4	91	66	66.0%	4.0%
実質破綻先	16	2	14	10	62.5%	12.5%
破綻先	4	0	3	1	25.0%	0.0%
合計	1,492	445	843	391	26.2%	29.8%

(注) 経営改善支援取組先は、JA・信連・農林中金が再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。
 ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。債務者区分不変先とは、期末の債務者区分が
 期初と変化しなかった先をいいます。

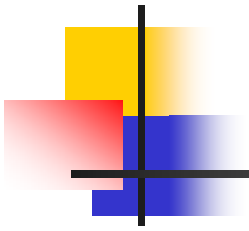


講演会・セミナーの開催

- JAバンク青森では、県内農業法人への講演等に取り組んでいます。

【平成21年度 講演実績】

講演名	参加対象者	主催者
「JAバンクにおける担い手への取組みについて」	県内農業法人	青森県農業法人協会



**経営の将来性を見極める融資手法
を始め、担い手に適した資金供給手法
の提供**

負債整理資金による経営支援

- JAバンク青森では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成21年度 負債整理資金貸出実績】

単位 件,百万円

	実行件数	実行金額	平成22年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	53	100	910
畜特資金	0	0	124
負債整理資金	11	65	1,506
農家自立経営安定化資金	36	52	52
その他	36	132	1,308
合計	136	349	3,900

・農業負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

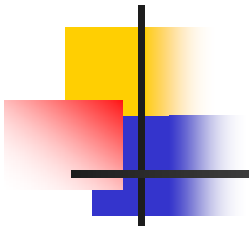
・畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・負債整理資金、農家自立経営安定化資金およびその他は、制度資金以外のプロパー資金(要綱資金・独自資金)による借換資金が該当します。



農業融資への利子助成の実施

- 農業者に対する農機ハウスローン, スーパーS資金等の融資について, 農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い, 農業担い手をサポートしました。
- 平成21年度は県下11JAで, 1,114件, 18,835千円の利子助成を行いました。



**農山漁村等地域の情報集積を活用
した持続可能な農山漁村等地域育成
への貢献**



災害などの被災者への支援

- JAバンク青森では、災害等の被災者を支援するため、災害対策資金の創設や利子助成等を実施、また個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。
- また、農産物の価格低迷や農業生産資材の価格高騰に対し、県域独自の対策を実施しました。
- このような対策資金について、6JAで990件、1,514百万円の融資がありました。

【県内JAによる対策資金】

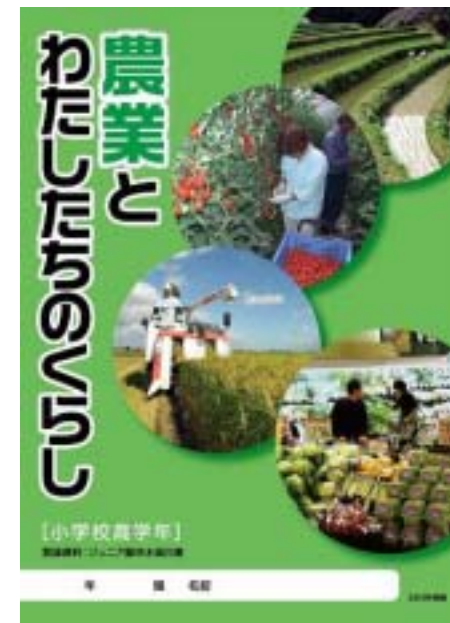
JA名	取組み	内 容
JAつがるにしきた	平成20年りんご出荷農家 災害対応資金	平成20年災害により、りんご仮渡金精算が出来ない果樹農家に対する資金。
	平成21年日照不足、冷夏 等による野菜、果実農家 への対策資金	平成21年春より頻発した降雹、季節外れの積雪と低温・多雨、また、夏場の低温と日照不足、記録的な長雨に伴う野菜、果樹の減収、減額となった被害農家に対する資金。
JAつがる弘前	青森県農林漁業災害経営 対策資金	平成20年4月中旬から5月中旬の降霜、5月26日、6月13日の降雹における被害農業者で、市町村長の被害認定を受けた組合員に対応、行政の利子補給を受けた資金。
JAつがる弘前	平成20年災害対策資金	平成20年4月中旬から5月中旬の降霜、5月26日、6月13日の降雹における被害農業者の農業経営維持・継続に必要とする短期的資金。 青森県農業信用基金協会の保証を必要としないもの。
	平成20年特別対策資金	平成20年4月中旬から5月中旬の降霜、5月26日、6月13日の降雹における被害農業者の農業経営維持・継続に必要とする長期的資金。 青森県農業信用基金協会の保証を必要とするもの。

【県内JAによる対策資金】

JA名	取組み	内 容
JAつがる弘前	農家特別対策資金	平成20年4月中旬から5月中旬の降霜, 5月26日, 6月13日の降雹における被害農業者の農業経営維持・継続に必要なとする長期的資金。
	平成21年農産物減収特別対策資金	
JA青森	りんご価格低迷による精算割れ対応	平成20年産りんごが霜・雹の被害によりりんご価格が低迷し, 仮渡金が返済不能となった農業者に対する資金。
JA相馬村	りんご価格低迷によるりんご過払い金に対する対応	2年続きのりんご価格低迷による農業者所得減少に対する資金。
JA津軽みらい	りんご農家経営特別対策資金	平成20年産りんご雹霜害による品質低下と経済不況により農業所得が減少した農業者の経営維持安定のため行政の利子補給を受けた資金。
	弘前市農業経営支援対策資金	農産物価格低迷等により農業所得が減少した農業者に対する資金。
JA八戸	農家経営安定化資金	天候不順・災害などで農畜産物の価格低迷による収入減少のため, 仮渡金や生産資材等精算に必要な資金および次年度の運転資金を低利で融資。

JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク青森では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク青森を通じて、平成21年度には県内の小学校346校へ、14,720セットが配布され、学校の授業等において活用されています。



教材「農業とわたしたちの暮らし」表紙

- 県内のJAでは、食農教育などの実践活動が取組まれており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。平成21年度は青森県農業協同組合中央会、JAの取組みに対して、2,460千円の助成が行われました。

【JAバンク青森食農教育応援事業による活動内容】

JA名	取組み	内 容
青森県農業協同組合中央会	社会科副読本の作成・配布	副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」を作成し、県内の小学5年生に無料で配布。
JAつがる弘前	いのちと自然の大切さを育む体験スクール	地元小学校と児童センターによる学校田や学童農園およびバケツ苗の開催。
	農業塾	大豆、枝豆、野菜の植付け、収穫、販売、加工、料理、環境問題等の学習会開催。
	キッズスクール	野菜の植付け、収穫、販売、料理、食の学習会開催。
JAごしょつがる	アイガモ農法およびバケツ稲作体験学習会	地元小学5年生による体験学習。
JA十和田おいらせ	稲作体験スクール	伝法寺小学校生徒による稲作栽培の体験スクール。
JAおいらせ	野菜の植付け、収穫体験。ちゃぐりんフェスタ。キャラ弁コンテスト。	地元小学生による野菜の植付け、収穫体験。地元農産物を使った料理講習会と収穫体験。